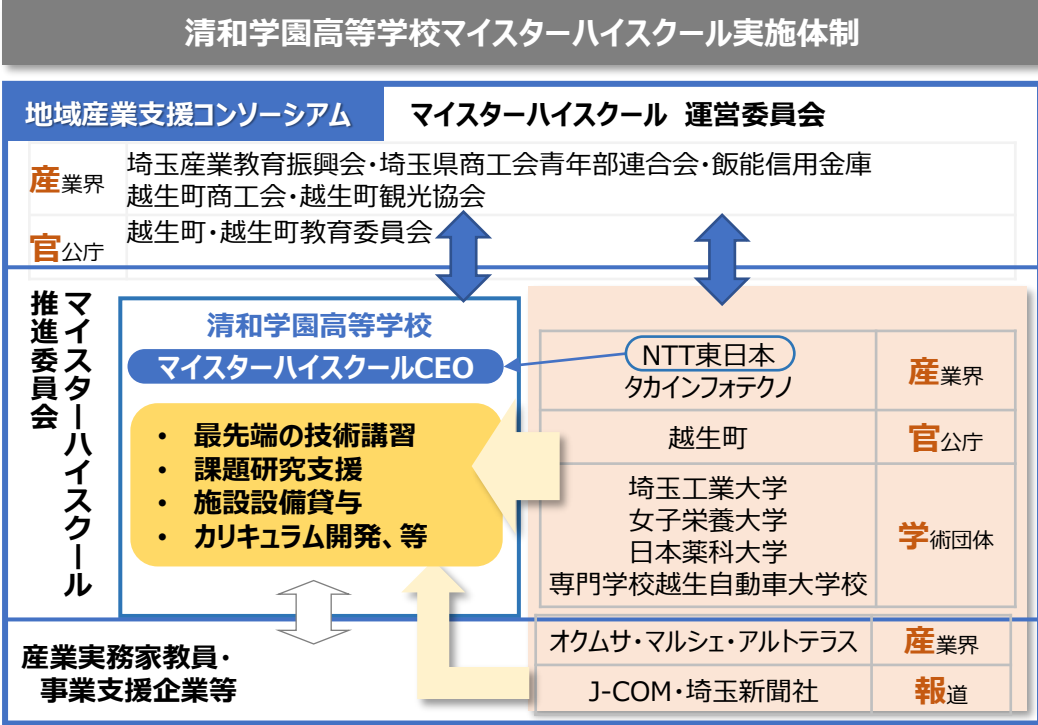
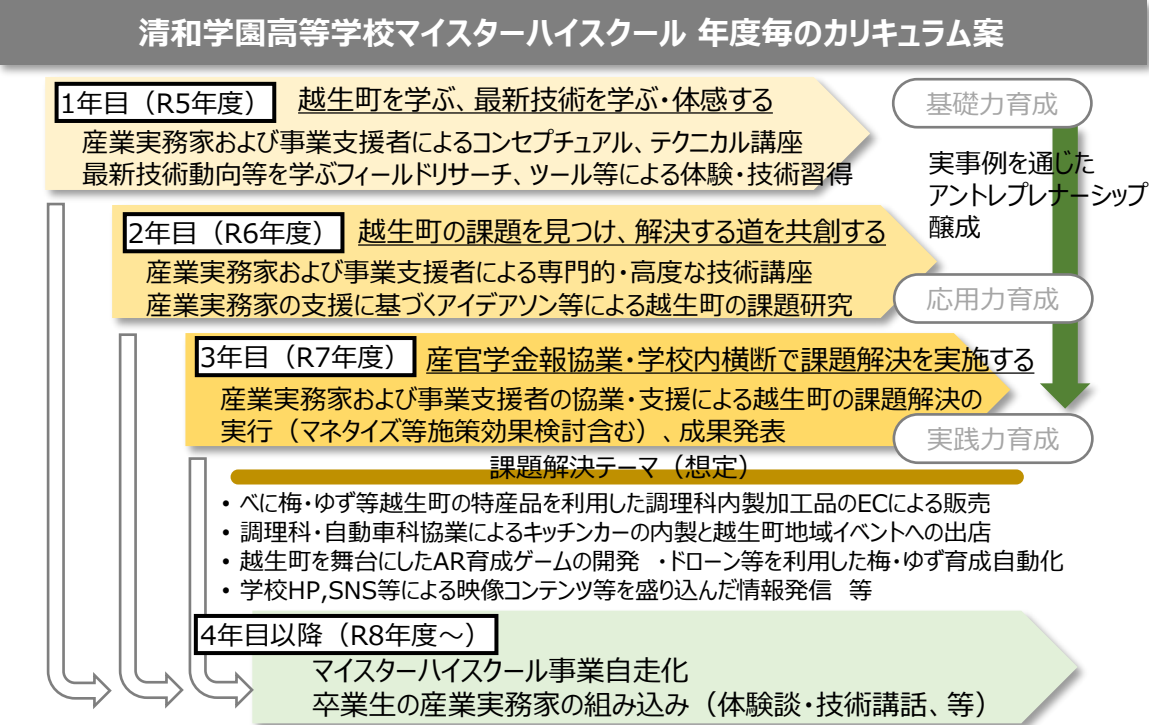
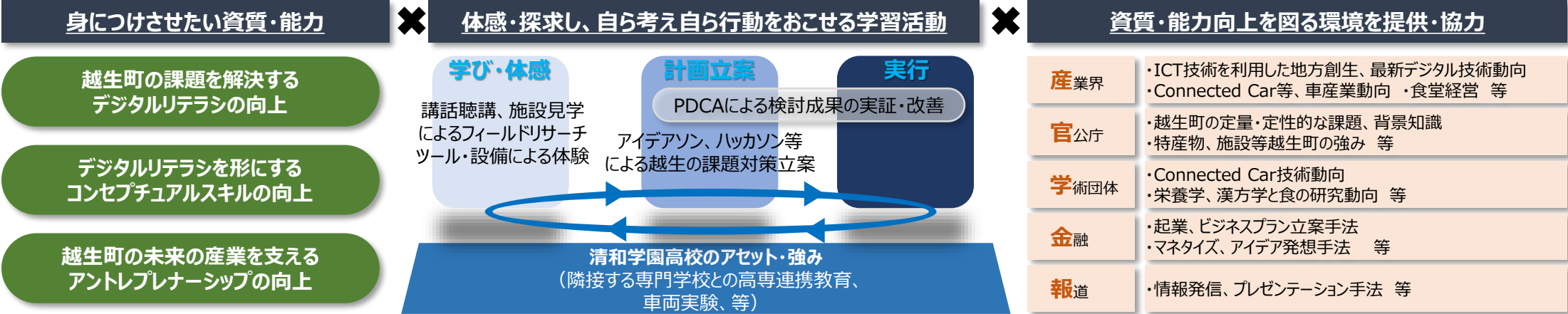


レジリエントな町と産業を支えるニューノーマル時代のSX（Sustainability Transformation）人材養成モデルの構築

事業ビジョン

越生の町と越生の産業のサスティナブルとレジリエントを実現するニューノーマル時代のSX人材養成モデルの構築

清和学園高等学校は、通信制高校でありながら全国唯一の工業・家庭の国家資格が取得可能な新たなスタイルの高等学校である。越生町に受け継がれてきた自然豊かな環境や地域産業を活かし、生徒一人ひとりが、越生町民や地域関係者と協働して、地域・社会課題の発見やICT・デジタル技術等最新技術による解決に自ら取り組むことのできる力を育み、アフターコロナ・ウィズコロナ時代における越生町の強靱かつ持続的な成長を図っていける人材を育成する。



レジリエントな町と産業を支えるニューノーマル時代のSX（Sustainability Transformation）人材養成モデルの構築

越生町を学ぶ

生徒が選択したテーマで越生町を調査するレポート課題を実施。町長による越生町についての講演を実施、生徒と質疑を実施して、町についての理解を深めた。

ICT基礎

基本的PC操作から始め、簡易ゲームを作成するプログラミングに取り組み、最後は生成AIによる画像作成を体験した。

和食を学ぶ

女子栄養大学連携授業で伝統的和食「一汁三菜」について学び調理実習を実施した。

VRメタバース

ベクターデザインによるVR、メタバース体験。溶接VRなど専門教育への応用についての試行を実施。

クリスマスコンテスト

生徒がレシピを考案・調理。カフェ「オクムサ・マルシェ」からSNS向け料理撮影を学び、校内Webで人気投票を実施。

ドローン

NTT東日本を講師として活用事例やセンサー機能を学んだ後、離れたバケツの中身を空撮する操作体験を実施。

清和チョコレートプロジェクト

山手調理製菓専門学校の指導を受けながら越生産の梅・柚子・栗を使ったチョコレートレシピを開発。プレゼンを学んだ上で代表レシピ選出の審査会を実施、バレンタインに選出レシピを百貨店等で販売。販売結果から流通や利益も学んだ。

地域課題の解決

デジタルリテラシー

SX人材養成モデル

コンセプチュアルスキル

アントレプレナーシップ

最新技術/専門分野を学ぶ

自動運転

埼玉工業大学で自動運転に関する特別授業を実施。AIや各種センサーを学び、自動運転バスに実際に乗車して最新技術を体感し、応用の可能性を理解した。

ICTによる地域課題解決

NTT東日本e-city laboを訪問、体感しながらICTを活用した地域や業界の課題解決を学んだ

SDGsを学ぶ

NTT東日本を講師としてカードゲームを通じて体感、理解することで、SDGsを自分事として捉える授業を実施。

起業体験講演

越生町で起業した寺田養蜂園代表の体験を聴くことで起業するメリット、リスク、可能性を学んだ。

最新EV

超小型自動車を開発するFOMMによる最新EVに関する授業を実施。EVの仕組みについて講義を受け、車体を観察、実際に走行するEVに同乗して技術を体験した。

自動車産業

日産プリンス埼玉による自動車産業についての特別授業。メーカーを代表するGT-Rの実車を教材としてスポーツカーの歴史などを学んだ。

成果 越生町への理解・関心が高まり、最新技術に触れて時代の変化を実感させることが出来た。プロジェクトでは地域課題の解決を通じて生徒自身がプレゼンスキル等の伸長と、達成感を感じることが出来た。

課題 授業時間の確保、特に複数時限となる外部訪問等は既存の時間割では困難。取り組み内容と授業科目との紐付けについて事前の明確化が必要。